

● 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

[各2点×5]

ある 吝嗇りんしやくなるもの「ことはまことにものついやしぬ」とて、*をよび折をりてかぞへたてぬ。「まづ春より秋まで、か*のいたづき*によって、のめる薬くすりもかばかりなり、それにかかる事もありし」など、①かぞへつついふを、つくづくとききぬし人が「いと*さりがたきがうへに、君が身につきたるものひとつあり。②是をいかに費つぎといはん」といへば、「なになるや」ととふ。「薬くすりのみ給たまはずば、かくけふなげき事もえいひ給はじ。かくいひ給ふは薬のめぐみなれば、それにむくひ給ふを費と心得給ふか」といひし。かのひとは③これを費と*せちに*思ひけんかし。

〔松平定信「花月草紙」より〕

(注) 吝嗇りんしやく＝過度にものおしみすること。けち。
をよびをよ＝指。

いたづきいたづききによって＝病気によって。

かばかりかばかり＝こんなにも。これほど。

さりがたきさりがたきき＝離れにくい。

せちにせちにに＝ひたすら。しきりに。

思ひけんかし思ひけん＝思ったということですよ。

(1) — 線①「かぞへつついふ」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書いて答えなさい。

(2) — 線②「是をいかに費といはん」の現代語訳として最も適切なものを次

から選び、記号で答えなさい。

ア これをどうしてむだづかいと言わないのか。

イ これをどうしてむだづかいと言おうか。

ウ これをどうしてむだづかいできないのか。

エ これをどうしてむだづかいするのか。

(3) — 線③「これ」の指し示すものとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 病気になること。

イ 健康を取り戻すこと。

ウ 薬の効果がでること。

エ 薬の代金を払うこと。

(4) 本文中から、現代語の「今日」にあたることばを探し、そのまま書き抜いて答えなさい。

(5) 本文中から読み取れる「ある吝嗇なるもの」の考え方として、最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 治療のためとはいえ、薬に金を使うなどもつたいない。

イ 病気になるとその間は働けないので、損をすることになる。

ウ 病気を治すためなら、薬にお金を使うのはやむを得ない。

エ 文句を言えるくらい回復したのも、薬のおかげである。